

# 補 足 説 明 資 料

( 但 馬 県 民 局 )

令和6年2月8日

		ページ
1	( 拡 充 ) コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開	1
2	( 新 規 ) 新潟県との連携(コウノトリとトキの野生復帰・環境創造型農業の推進)による情報発信と交流促進	2
3	スマート農業技術の確立・定着・拡大	3
4	( 拡 充 ) 但馬牛の生産基盤強化対策の推進	4
5	但馬産農水産物のブランド力の向上	5
6	( 新 規 ) 夜久野高原区域の地域活性化に向けた支援	6
7	野生鳥獣被害対策の推進	7
8	( 拡 充 ) 産業活性化の推進	8
9	( 拡 充 ) 但馬材素材生産強化・向上	9
10	地域ぐるみの新規就農者の確保	10
11	新規参入者による但馬牛がいるむらづくり支援	11
12	( 拡 充 ) 沖合漁業船員の育成および定着促進	12
13	但馬U・Iターン400人大作戦の展開	13
14	( 拡 充 ) 「但馬で働こう大作戦」の推進	14
15	( 拡 充 ) 但馬の多彩な観光資源の再構築	15
16	( 新 規 ) ひょうごフィールドパピリオン地域内連携の強化と情報発信事業	17
17	都市農村交流人口の拡大推進事業	18
18	( 拡 充 ) 「鉱石の道」を活用した地域活性化の推進	19
19	( 拡 充 ) 山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進	20
20	但馬地域鉄道利用の促進	21
21	基幹道路ネットワークの整備(土木部)	22
22	コウノトリも棲める郷づくりの推進	23
23	ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業	24
24	清流の郷づくり大作戦の推進	25
25	( 新 規 ) 豊岡復興建築群の魅力発信	26
26	専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進	27
27	但馬での学生グループ地域づくり活動の支援	28
28	地域活動応援事業の推進	29
29	但馬地域ビジョン2050の推進	30
30	地域の見守りケアアップ作戦	31
31	但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた支援	32
32	( 新 規 ) 「たじま福祉交流・連携エリア」事業検討	33
33	地域医療構想の実現と推進	34
34	( 新 規 ) 社会的処方及び重層的支援体制の整備による地域共生社会の推進	35
35	クリーン但馬10万人大作戦の推進	36
36	安全安心で住みよい但馬の農村(むら)づくり	37
37	地域防災力の充実・強化	38

記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡農林水産振興事務所 農政振興課 朝来農林振興事務所 農政振興課	ダイヤルイン 0796-26-3694 ダイヤルイン 079-672-6879	所長 堀川 道信 （小林 哲也） 所長 高橋 徹 （平岡 幹朗）	

## コウノトリ育む農法拡大総合対策の展開

### 1 事業の趣旨、目的

コウノトリ育む農法（以下「育む農法」という。）は、兵庫県が推進する環境創造型農業の代表的な農法の1つであり、但馬地域における農業の担い手確保や地域農業活性化の観点からも重要な取組であることから、引き続き、多様化した消費者ニーズへの適応や付加価値・品質の向上、また減農薬栽培から無農薬栽培へのシフトを支援するほか、農作業の省力化を推進し、「育む農法」の取組拡大を図る。

### 2 事業内容

#### 【農業関係】

#### (1) 育む農法推進に係る課題解決のための技術実証

品質向上や省力化、新品種（多収穫品種）の無農薬栽培及び施肥体系確立等に向けた技術実証ほを設置

#### (2) 育む農法取組拡大に向けた生産条件整備（コウノトリ育む農法拡大条件整備事業） 取組を拡大する生産者・団体等への栽培経費支援

#### (3) 育む農法の更なる認知度向上や販路拡大等によるブランド強化

ア JAたじまが実施するPR活動への支援

イ 有機JAS等第三者認証の取得支援

#### (4) コウノトリ育む田んぼ塾の開催

栽培技術レベルの高い農業者（育む農法アドバイザー）による栽培初心者等への指導により円滑な技術習得を推進

#### (5) 育む農法拡大に向けた低コスト水利施設導入

冬期湛水の用水を確保するため、ポンプを利用しない自然の水位差を利用した低コスト水利施設の導入促進と適地調査

### 3 予算額 8,965千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡農林水産振興事務所 農政振興課	ダイヤルイン 0796-26-3694	所長 堀川 道信 （小林 哲也）	

## 新潟県との連携（コウノトリとトキの野生復帰・環境創造型農業の推進）による情報発信と交流促進

### 1 事業の趣旨、目的

コウノトリの野生復帰や環境創造型農業（コウノトリ育む農法）に取り組む豊岡市と、同様の取組を展開する佐渡市との連携・交流を促進し、成果を広く国内外に情報発信することで、但馬地域への来訪者の増加を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 新潟県との連携による情報発信と交流促進（R6～R7）

小学校どうしの交流（コウノトリ・トキの野生復帰や環境創造型農業に関するオンライン授業、生き物調査等の対面学習）や、農業者間の技術交流等に必要な経費を助成

ア 小学生対面学習等の支援

バス借上料（豊岡市～佐渡市）、通行料金、宿泊料金（佐渡市等）、学習用パネル等資材購入費

イ 農業者間技術交流（新潟県からの農業視察受入れ）の促進

ウ PRパンフレット等の作成

コウノトリとトキの野生復帰、コウノトリ育む農法など環境創造型農業の取組を広く国内外にPR

### 3 予算額 1,000千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡農林水産振興事務所 農政振興課 朝来農林振興事務所 農政振興課	ダイヤルイン 0796-26-3694 ダイヤルイン 079-672-6879	所長 堀川 道信 （小林 哲也） 所長 高橋 徹 （平岡 幹朗）	

## スマート農業技術の確立・定着・拡大

### 1 事業目的、効果等

但馬地域では、新規就農者の確保、集落営農組織の法人化等が進みつつある一方、農業従事者の高齢化が進み、担い手の確保が困難となっている集落も存在し、地域農地の維持保全が課題である。

このような状況下で、限られた労働力での生産性向上や効率化、作業の平準化等を図るため、先端技術を積極的に活用したスマート農業技術の確立・定着・拡大を図る。

### 2 事業内容

#### (1) ほ場条件や作物に対応したスマート農業技術確立・定着・拡大

但馬地域の自然環境、ほ場条件や経営規模、作物別にマッチするスマート技術を実証する。

内 容：技術確立実証ほの設置  
経営実験大規模実証ほ設置

#### (2) 地球温暖化に対応した栽培管理技術の確立

但馬特産品の高原野菜（ホウレンソウ）等を対象に、環境条件（気温、土壌水分等）と生育の関係を明らかにした生育予測システムの構築や土壌水分管理技術の確立を図る。

内 容：環境データ調査試験ほ設置

### 3 予算額 1,500千円



衛星画像解析を活用した可変施肥の実証



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡農林水産振興事務所 農政振興課 朝来農林振興事務所 農政振興課	ダイヤルイン 0796-26-3694 ダイヤルイン 079-672-6879	所長 堀川 道信 （小林 哲也） 所長 高橋 徹 （平岡 幹朗）	

## 但馬牛の生産基盤強化対策の推進

### 1 事業目的、効果等

但馬牛の生産基盤を強化するため、農業後継者・新規参入就農者の確保に向けた受入体制整備を進め、中・小規模農家の飼養環境、労働環境等の改善を支援するほか、耕種農家と畜産農家の連携による堆肥需給調整を推進する。

また、美方郡産但馬牛システムの世界農業遺産認定を受け、観光産業と連携した地域の活性化を推進する。

### 2 事業内容

#### (1) 農業遺産但馬牛システムの継承者の確保に向けた受入体制整備

新たな牛舎整備用地となる空き（予定）牛舎等の調査・検討後に、規模拡大志向の後継者や継承希望者とのマッチング

#### (2) 但馬牛耕畜連携流通システムの確立（堆肥の広域流通）

モデル地区における飼料作物と堆肥の流通体制の構築

ア 堆肥を活用した自給飼料（WCS、飼料用稲等）の実証ほを設置

イ 稲わらを畜産農家に供給するシステムの構築

#### (3) 美方郡産但馬牛の世界農業遺産認定活用

ア 世界農業遺産認定を受け、活用協議会運営への支援

イ 観光産業等との連携体制の構築

①情報発信の強化（但馬牛イベントへの支援、但馬牛アンバサダーの育成）

②但馬牛の小規模畜舎及び放牧風景の提供

### 3 予算額 5,485千円



記者発表（ <del>発表</del> 資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL （ダイヤルイン）	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡農林水産振興事務所農政振興課 但馬水産事務所水産課 朝来農林振興事務所農政振興課	0796-26-3694 0796-36-1153 079-672-6878	所長 堀川 道信（小林 哲也） 所長 水田 章（大野 泰史） 所長 高橋 徹（平岡 幹朗）	

## 但馬産農水産物のブランド力の向上

### 1 事業の趣旨、目的

但馬地域には高品質で独自性があり、商標権を持った有望な特産農水産物が多数存在しているが、生産量が少なく知名度も低いいため、販売価格が低く抑えられる等、産地拡大や担い手確保につながっていない。一方で、観光等の目玉となっている農水産物も多くあることから、さらなるブランド力の向上による販売価格向上や生産コスト低減を進め、儲かる農水産業の実現を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 他産地との差別化に向けたPR

商標、地域団体商標等を活用し、他産地との差別化、知名度向上に向けたPR活動を実施するとともに、生産者団体等が行うPR活動を支援する。

ア 販売店でのPR、地元での特設販売等（なしおとめ、えだまめ（ひかり姫等））

イ 展示会等への出展、販促活動への補助（美方大納言小豆、朝倉さんしょ）

#### (2) 生産安定・多収化・コスト低減に向けた技術開発と普及

品目ごとの課題に対応した実証試験による栽培技術の確立と普及を進める。

（たじまピーマン、なしおとめ、朝倉さんしょ、岩津ねぎ、えだまめ（ひかり姫等））

#### (3) 作付拡大への支援

ア 新規栽培等への経費補助（たじまピーマン、朝倉さんしょ）

イ 技術習得への支援（なしおとめ「香住なしの学校」運営支援、朝倉さんしょ「さんしょスクール」開催）

ウ 優良種子確保対策への経費補助（美方大納言小豆）

#### (4) 有機農業等の推進

野菜や果樹など多様な品目への堆肥利用の拡大に向けた実演会を実施する。

#### (5) 但馬産水産物の振興

ア 水産・加工・観光業者が連携して行う但馬産松葉がにのPRなど、但馬産水産物や水産加工品の認知度向上と販路拡大に向けた活動を支援

イ いか釣り漁業の経営安定に向けた操業試験の実施

ウ 藻場保全に向けた重点的なムラサキウニの採取・駆除の実施

### 3 予算額 10,294千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	朝来土地改良センター 農村整備課	ダイヤルイン 079-672-6895	所長 藤尾 和子 （松田 吉弘）	

## 夜久野高原区域の地域活性化に向けた支援

### 1 事業の趣旨、目的

朝来市北東部に広がる夜久野高原区域では、県営ほ場整備事業で畑地の大区画化による農作業の効率化や農地集積による農業法人等の担い手の経営規模の拡大を進め、さらに、朝来市が区域内の整備計画を策定している。

そこで区域内市有地の「夜久野高原花畑」等に計画される活性化施設の整備や維持・管理、活用方法を検討することによって、持続可能な施設運営により関係人口の拡大とともに地域の農業収益力向上を図り、地域活性化を促進する。

### 2 事業内容

(1) 計画の具体化に向けた朝来市との協働による国庫補助事業等を活用した活性化施設整備の検討

(2) コミュニティビジネスの専門家を協議会に派遣し、活性化施設活用事例の収集や現地研修を通して、活性化施設の整備活用方針の策定を支援する。

		R 5	R 6	R 7	R 8	備考
地元組織		協議会設立準備 集客数想定・施設規模想定	協議会設立 ・施設管理方法検討 ・補助事業の検討	協議会	協議会	
補助事業等	ほ場整備	県営ほ場整備事業 夜久野高原地区			→	
	活性化施設	市有地を含んだ活性化施設等の整備計画策定 （中山間地域総合整備事業）	東河地区		→	
県民局支援			専門家派遣	-----	-----	→

### 3 予算額 400千円



記者発表（ <del>発表</del> 資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡農林水産振興事務所 森林課 朝来農林振興事務所 森林第2課	ダイヤルイン 0796-26-3698 ダイヤルイン 079-672-6881	所長 堀川 道信 （雑賀 謙彰） 所長 高橋 徹 （福島 智則）	

## 野生鳥獣被害対策の推進

### 1 事業の趣旨、目的

但馬地域では、有害鳥獣捕獲や防護柵設置等の対策を推進しているが、野生動物による令和4年度の農林業被害額は、121百万円と依然深刻な状況にある。

特に、美方郡では、近年、積雪量が少ないことに加え、狩猟者の高齢化や銃猟免許所持者数が少ないことから、被害が増加傾向にある。

このため、美方郡を中心に捕獲が手薄な市町境等での捕獲体制を強化するため市町間連携による捕獲を進め、シカ生息密度の低減を図る。

また、捕獲したシカを食肉利用する技術を高めることで、狩猟者の捕獲意欲向上を図る。さらに、漁業被害の大きいカワウについて、広域的かつ計画的な対策を実施する。

### 2 事業内容

#### (1) 但馬全体で連携した広域捕獲の実施

令和2年度に設置した「但馬地域鳥獣被害対策協議会」において、狩猟期の目撃効率や被害状況、周辺の有害捕獲実績を基に、広域捕獲エリアを設定し、捕獲班の編制、市町有害捕獲許可の調整を行い、広域捕獲を実施する。

#### (2) くくりわなの捕獲技術講習

わな猟初心者を対象に、「但馬地域鳥獣被害対策協議会」の主催で、捕獲効率の高い「くくりわな」での捕獲技術を講習する。

#### (3) 広域的カワウ対策体制の構築

但馬地域における広域的かつ計画的なカワウ対策を実施するため、市町や内水面漁協が連携し、捕獲や調査を実施する。

#### (4) 食肉用シカ肉処理加工量増加対策

捕獲したシカを食用として利用することを促進するため、狩猟者を対象に血抜き講習を実施する。

### 3 予算額 629千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 地域づくり課	ダイヤルイン 0796-26-3685	室長 宿南 広樹 （班長 森上 康徳）	

## 産業活性化の推進

### 1 事業の趣旨、目的

但馬地域の支援団体間の人材交流を行い、地域特有の課題を共有、検討する場を提供することで、団体職員のスキルアップや企業の支援力向上を促進する。また、大学と連携した起業支援や顕彰事業を通じて但馬の産業体制の活性化を図り、地域の発展に繋げる。

### 2 事業内容

#### (1) 支援団体等との人材交流・連携強化事業

但馬企業を支える商工会議所・商工会等の支援団体職員間の交流を創出し、地域特有の課題や解決への提案などを共有する場を設けることで、但馬地域一体となった企業への支援体制の強化を促進

#### (2) 関係団体と連携した但馬企業の応援事業

##### ア 芸術文化観光専門職大学との連携によるスタートアップ支援

芸術文化観光専門職大学と協力し、起業家や大学講師、学生、地域事業者等の交流促進と、但馬地域における起業機運の醸成を図るため、講演・交流会を開催



【スタートアップ支援事業の様子】

##### イ 但馬産業大賞による企業顕彰

但馬地域の様々な分野で地域産業の活性化に貢献した企業等を顕彰・発信し、受賞企業はもとより地域企業のさらなる発展を推進

### 3 予算額 893千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡農林水産振興事務所 森林課	ダイヤルイン 0796-26-3698	所長 堀川 道信 （雑賀 謙彰）	
	朝来農林振興事務所 森林第2課	ダイヤルイン 079-672-6881	所長 高橋 徹 （福島 智則）	

## 但馬材素材生産強化・向上

### 1 事業の趣旨、目的

但馬地域では、利用可能な森林資源の増大に加え、素材生産力の強化に向け、主伐再造林による資源循環型林業を推進している。一方、森林資源の充実による木材生産の拡大が見込まれるなか、人材の確保や再造林の省力化が課題となっている。

このため、但馬地域の林業を担う人材の確保と育成や、現場作業の負担軽減に取り組むとともに、販路の確保による但馬産木材の利用拡大を促進する。

### 2 事業内容

#### (1) 資源循環型林業を担う人材の確保・育成

但馬地域の林業人材の確保・育成を図るため、林業の魅力を発信する出前講座や就労イベントを開催する。

ア 県立高等学校等への出前講座の実施や、但馬地域等で開催される移住・就労相談会への出展

イ 高性能林業機械等が活躍する林業の現場を見学できるバスツアーの実施

#### (2) 但馬型再造林モデルの実証

但馬地域の積雪量やシカの生息数に適応した再造林モデルを確立するための実証試験を実施する。

ア シカによる苗木の食害対策として、獣害忌避装置の再造林地への導入可能性を検討

イ 草刈り機による下刈りの代替としてドローンによる薬剤散布を行い、現場作業員の負担軽減や低コスト化を検討



獣害忌避装置

#### (3) 但馬産原木の海外輸出の促進

商社等流通関係者との情報交換会の開催

### 3 予算額 854千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡農林水産振興事務所 農政振興課 朝来農林振興事務所 農政振興課	ダイヤルイン 0796-26-3694 ダイヤルイン 079-672-6879	所長 堀川 道信 （小林 哲也） 所長 高橋 徹 （平岡 幹朗）	

## 地域ぐるみの新規就農者の確保

### 1 事業の趣旨、目的

高齢化による農業者の減少が深刻な中、新規就農者の確保のためには、地元の農家子弟の就農だけでなく、地域外からの新規就農が重要である。そのために、但馬地域の就農への魅力を伝える情報発信コンテンツを充実させるとともに、新規就農者希望者を但馬地域へ呼び込むイベントの開催により、但馬地域外からの新規就農者数の確保を図る。

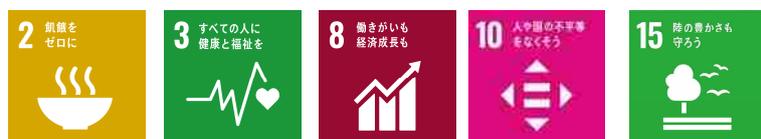
### 2 事業内容

#### (1) 直に感じるバスツアーの開催

但馬外からの就農者確保のため、但馬の魅力を直に感じ、先輩農業者から直に話を聞ける「営農タイプ別のコース（2コース）」を設定。

- 団体コース（募集人員 20人） 2回
- 少人数コース（募集人員 4人） 2回

### 3 予算額 800千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡土地改良センター 農村計画課	ダイヤルイン 0796-26-3715	所長 谷垣 和彦 （大田垣 知己）	

## 新規参入者による但馬牛がいるむらづくり支援

### 1 事業の趣旨、目的

中山間地域を中心に過疎化・高齢化の進行やイノシシやシカ等による農作物被害により地域住民主体での農地管理が難しくなり、耕作放棄地が増加している。

このような中で、多面的機能支払交付金\*1を活用し、その解消に努めている地域においても、構成員の高齢化は、活動の継続していく上で重要な課題となっている。

一方、但馬地域のブランドである但馬牛は、世界的な評価が高まり、年々輸出量も増え、但馬牛繁殖農家を希望する若い生産者も増えている。

しかし、飼育にあたっては、悪臭や害虫など畜産公害を集落が心配し、用地の確保が難しい状況にある。

このため、集落へのデメリット（＝畜産公害の心配）だけで畜産農家の参入を判断するのではなく、メリット（＝畜産への新規参入者が地域の機能維持のための担い手としても活躍等）も同時に考えられるようなマッチングを進める必要がある。

そこで、但馬牛を切り口として、集落の考えを把握し、集落機能の維持に向けた誘導とするための支援を実施する。

※1 農業や農村が持つ多面的機能の維持や、機能の発揮を図るための地域の共同活動を支援し、地域資源（水路、農道、ため池及び法面等、農業を支える共用の施設）の適切な保管理を推進する目的で設立された助成金制度（農地維持 田 3,000 円/10a 畑 2,000 円/10a 草地 250 円/10a）令和4年度の取組状況（組織数:188 集落数:342）

### 2 事業内容

#### (1) 受け入れ体制の整備・促進

R5に実施した支援集落及び新規参入者等の募集の絞り込みを行うとともに、先進地調査の実施等を行い課題や条件設定の明確化を図る。また、イメージパースの作成により、地域住民等の理解促進に努める。

#### (2) 実施主体

県

### 3 予算額 300千円



記者発表（ <del>発表</del> 資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	但馬水産事務所 水産課	ダイヤルイン 0796-36-1153	水田 章 （大野 泰史）	

## 沖合漁業船員の育成および定着促進

### 1 事業の趣旨、目的

沖合底びき網漁業とべにずわいがにかご漁業の沖合漁業は、但馬地域の年間漁業産出額約 100 億円のうち約 9 割を占めるだけでなく、但馬地域の水産加工業や観光業などと深く結びつく地域経済を支える基幹漁業である。しかし、沖合漁業は未経験者にとっては不安要素が多く、船員不足が常態化している。このため、船員不足を理由に事業継続が困難となる経営体が生じるおそれがある。

そこで、沖合漁業へ就労を希望する未経験者に実際の漁労作業等の現場研修を実施することにより、漁業経営者と新規就業者の雇用維持に関する不安の解消を図り、新規就業者の育成と定着を促進する。

### 2 事業内容

沖合漁業に就労を希望する新規就業者を広く募集し、その育成と定着を促進するため、定着率をあげる活動を支援

- (1) 就業希望者に沖合漁業への理解を深めてもらうため、就職説明会への出展とあわせ、漁船での作業内容などが分かる資料を作成
- (2) 沖合漁業への就労を希望する未経験者に実際の漁労作業等の現場研修を実施
- (3) 事業実施主体

兵庫県機船底曳網漁業協会、兵庫県ベニガニ協会、漁協、沖合漁業経営体

### 3 予算額 9, 525 千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡土木事務所 まちづくり建築第2課	ダイヤルイン 0796-26-3755	まちづくり参事 山盛貴重 （まちづくり建築第2課長 神宮 円）	

## 但馬U・Iターン400人大作戦の展開

### 1 事業の趣旨、目的

きめ細かい移住相談対応と移住者受け入れ体制の強化、さらに若年世代への働きかけにより移住・定住を促進し、但馬地域へのU・Iターン者数年間400人を目指す。

### 2 事業内容

#### (1) 移住相談窓口の設置・運営

- ア 移住相談員を配置し、但馬の魅力や暮らしを紹介するとともに、移住希望者の想いをかなえるための親身になった相談を実施
- イ 管内市町と連携しながら、移住に役立つ但馬の情報を効果的に発信

#### (2) たじま移住体験オーダーメイドツアー等の実施

- ア 個々の移住希望者の具体的な要望にきめ細かに対応する移住体験ツアーを実施
- イ 先輩移住者や地元企業（職場体験）を案内するなど、住まいや仕事探しをワンストップで支援

#### (3) 移住者受け入れ体制の強化

- ア 移住者同士のネットワークづくりを支援し、移住後のフォローアップを強化
- イ 先輩移住者が移住希望者の生活相談等に対応する相談室の開設

#### (4) 若者のUターン促進

- ア 但馬出身の若者たちの将来のUターンに繋げるため、若者が企画し交流するコミュニケーションメディアを運営
- イ 若者を対象としたイベントを市町と連携して開催

#### (5) 住まいの確保事業（空き家相談会の実施）

空き家の利活用相談会を実施

3 予算額 9,754千円



記者発表（ <del>発表</del> 資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 地域づくり課	ダイヤルイン 0796-26-3685	室長 宿南 広樹 （班長 森上 康徳）	

## 「但馬で働こう大作戦」の推進

### 1 事業の趣旨、目的

地元高校生や出身大学生に向けた企業情報発信や、但馬地域唯一の4年制大学である芸術文化観光専門職大学生への地元企業説明会の開催、県関係部局と連携したU Iターン就労支援を実施し、但馬で働くことの魅力に触れる機会を提供することで、多様な人材の雇用拡大を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 高校生に向けての情報発信

但馬企業情報の発信

但馬の企業の若手従業員が地元企業・地元就職を決めた理由などを掲載した但馬企業紹介ホームページ「たじまが好き。」を、但馬地域の高校のキャリア教育等で活用し、若年層の地元企業認知度向上と地元就職を促進

#### (2) 大学生に向けての情報発信

ア 芸術文化観光専門職大学と連携した但馬企業説明会の開催

但馬地域唯一の4年制大学である芸術文化観光専門職大学の学生や但馬地域在学の学生等を対象に、大学と連携した企業説明会を開催

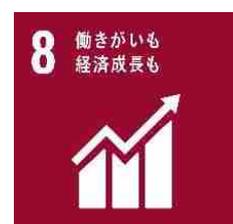


【合同企業面接会の様子（イメージ）】

イ 市町や高校と連携した大学3回生等への企業情報等の発信

各市町が作成している企業ガイドブックを管内各高校の協力を得て、進学した卒業生（大学3回生、短大、専門学校1年生）に一括送付し、就職予定者への地元企業認知度向上と地元就職を促進（対象：約1,000人）

### 3 予算額 2,177千円



記者発表（ <del>発表</del> 資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 地域づくり課	ダイヤルイン 0796-26-3685	室長 宿南 広樹 （森上 康徳）	

## 但馬の多彩な観光資源の再構築

### 1 事業の趣旨、目的

コロナ禍に端を発した旅行者ニーズの多様化への対応するため、既存の観光資源を効果的に活用できるよう再構築等を促し、地域が主体的に観光資源を活かしたコンテンツを創り上げることで、来訪者にとって魅力的で多様性のある観光地の醸成を図ると同時に、但馬地域の観光消費額を増加させる。

### 2 事業内容

#### (1) テーマ性をもったツーリズムの構築推進

但馬の潜在的な観光資源の掘り起こしを行い、着地型体験コンテンツの充実やそれに関わる人材の育成などを中心に支援し、観光客の滞在時間の長期化、観光消費額の増加を促進

#### (2) 但馬ツーリズム情報の積極的発信

兵庫 DC の効果を万博に向けて継続させることを軸に、ひょうごフィールドパビリオンなどを意識した観光コンテンツの国内外への広報・周知事業を強化し、「観光地但馬」の露出度の向上を推進



【VJTM2023 商談の様子】

#### (3) サイクルツーリズムの推進

但馬地域の豊かで魅力的な自然を最大限に活かす一つの形としてサイクルツーリズムを推進し、イベント開催を契機とした交流人口の拡大を図り、地域経済活性化と活力の向上を推進

#### (4) 二次交通の充実・利用促進に向けた支援

##### ア 夢但馬周遊バス「たじまわる」の運行

公共交通を利用した但馬の周遊観光の定着化を図るため、JR各駅等と観光地を結ぶ夢但馬周遊バス“たじまわる”の運行を軸に、主要観光地の二次交通を確保

- ・ルート数 プレミアムを含む6コースを予定
- ・運行期間 4月～
- ・アフターDC期間を中心とした特別企画と利用促進対策を実施



【夢但馬周遊バス「たじまわる」】

イ アフターDC・ひょうごFPを見据えた地域内周遊の促進

アフターDCやひょうごFPの展開を契機に来但を見込む観光客の二次交通手段の確保や、今後の運行に向けた検証・検討のため、交通事業者が実施する周遊観光に資する事業に対し、事業費の一部を支援し観光地と公共交通機関を結ぶ二次交通の充実を推進

(5) インバウンド誘客対策

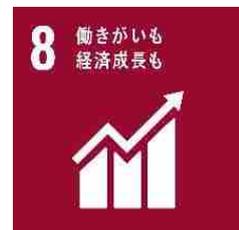
ア VISIT JAPAN「トラベル&MICE マート 2024」への出展

国内最大級のインバウンド向け商談会に管内5市町と協働して出展し、海外バイヤーとの商談及び但馬地域の観光情報を発信

イ インバウンド対応多言語化支援

万博を契機に外国人観光客の大幅な増加が見込まれる但馬の観光地に対し、外国人向けの案内体制の確立を推し進めるため、翻訳機器導入等に係る経費を支援

3 予算額 22,890千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 地域づくり課	ダイヤルイン 0796-26-3615	室長 宿南 広樹 （濱名 良輔）	

## ひょうごフィールドパビリオン 地域内連携の強化と情報発信事業

### 1 事業の趣旨、目的

ひょうご FP への取組を契機としてより多くの方を但馬に誘客し、観光 GDP の上昇や公共交通機関の利用促進を図り、地域の持続可能性を高めるため、各 FP の地域内連携の強化や磨き上げ、情報発信を行う。

### 2 事業内容

芸術文化観光専門職大学が実施する万博関連事業と連携し、近畿以遠より但馬を訪れる観光客を中心とした行動調査や、学生モニターツアーを実施する。

また、学生モニターツアーでの体験を SNS 等で情報発信すると共に、大阪・関西万博会場等、対面の場で配布するパンフレットを作成する。

#### (1) 芸術文化専門職大学と連携した事業

##### ア 観光客の行動調査

観光情報や交通情報を提供するアプリを活用し、行動調査を行う。また、データの裏付けを基に実効性のあるモデルコースのあぶり出しや、弱みに対する施策提言を行う。

##### イ 学生モニターツアー

学生に FP を体験してもらい、各 FP プレイヤーへ意見をフィードバックすると共にその体験を SNS 等で情報発信する。

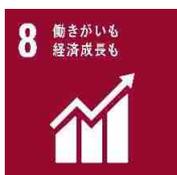
##### ウ モデルコース作成

学生モニターツアー等の結果を基に、FP や既存観光資源の連携を生かしたモデルコースを作成する。

#### (2) パンフレット作成

但馬全域の FP やモデルコース、公共交通機関情報を発信する。

### 3 予算額 3,000千円



プレミアムプログラム「湯がき体験」

記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／8 (木)	豊岡農林水産振興事務所 農政振興課	ダイヤルイン 0796-26-3694	所長 堀川 道信 (小林 哲也)	

## 都市農村交流人口の拡大推進事業

### 1 事業の趣旨、目的

多様な農林水産品や地場産品等の但馬ブランド、ツーリズムを推進するため、食・物産、観光をテーマとしたイベントの開催を支援し、但馬内外との交流・連携を推進する。

### 2 事業内容

但馬まるごと感動市実行委員会事務局が実施する都市農村交流イベントへの支援（R5～R6）

但馬全域を対象とした「但馬まるごと感動市」に支援する。

ア 助成対象：「但馬まるごと感動市」の開催経費

イ 事業主体：但馬まるごと感動市実行委員会

ウ 実施箇所数：1イベント（4,500千円×1団体）

### 3 予算額 4,500千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 地域づくり課	ダイヤルイン 0796-34-6126	室長 宿南 広樹 （小西 勝也）	

## 「鉱石の道」を活用した地域活性化の推進

### 1 事業の趣旨、目的

かつて全国有数の鉱山として栄えた中瀬、明延、神子畑、生野の4鉱山の近代化遺産を点から線へとつなぐ「鉱石の道」として、行政・各種団体・企業等との連携により、但馬の貴重な地域資源の活用と地域活性化を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 効果的なプロモーションの推進

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」エリア内の来訪者に対して、日本遺産のストーリー全体の魅力やストーリーでの構成文化財の位置付けなどを伝えるため、道の駅「銀の馬車道・神河」に広報ブースを設置することにより、再訪や構成文化財等の周遊を促進する。

#### (2) 「鉱石の道」稼ぐ仕組みの創出

鉱石の道エリアにおいて、来訪者増加による地域団体の自走を目指し、地域団体や事業者等が鉱山遺産以外の付加価値となる食や宿泊、体験等の魅力を掘り起こし、「稼ぐ仕組み」を創出する取組に対して支援する。

#### (3) 連携等による地域活性化の推進

- ア 「鉱石の道」関係協議会との連携
- イ 但馬地域イベントでのブース出展

### 3 予算額 3, 8 2 7 千円



【明延鉱山探検坑道】



【神子畑選鉱場跡】



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 ジオパーク課	ダイヤルイン 0796-26-3782	ジオパーク参事 金岡美千代 （岡 秀樹）	

## 山陰海岸ジオパークエリア活性化の推進

### 1 事業の趣旨、目的

但馬地域を含む3府県にまたがる山陰海岸国立公園を中心としたエリアを活性化させ、持続可能な地域を目指して、2010年に世界ジオパークネットワークへの加盟入りを果たした。

兵庫県、京都府、鳥取県、関係市町、関係団体で構成する山陰海岸ジオパーク推進協議会を中心に産業振興、保護保全、教育など各分野にわたるジオパーク活動を継続的に実施し、ジオパークエリアの活性化と持続可能な地域社会の形成を推進する。

### 2 事業内容

#### (1) 山陰海岸ジオパーク推進協議会への支援

世界レベルのジオパーク活動を継続的に実施するため、構成団体と連携し、積極的な取組を行う。

##### ア 産業振興・ツーリズム

・アート&ジオ共生事業 ・ジオパークトレイル活用事業 等

##### イ 保護保全活動の推進

・保護保全調査活動事業 ・保護保全活動支援事業 等

##### ウ 教育・調査研究

・学術研究支援事業 ・児童・生徒研究作品コンテスト 等

##### エ 情報収集・発信

・ホームページ情報発信強化 ・ジオパークパンフレット作成・増刷 等

#### (2) 万博推進に向けた山陰海岸ジオパークの受入環境強化

2025年に開催される大阪・関西万博に向けて、山陰海岸ジオパークエリアでもジオカヌーなど、ジオパークに関連したフィールドパビリオンも認定されている。それら認定されているフィールドパビリオンや、大地の成り立ちなどを感じられるジオサイトを訪れる観光客等の受入環境を充実させるため看板等を設置し、山陰海岸ジオパークの魅力を国内外に発信する。

### 3 予算額 13,270千円



記者発表（ <del>発表</del> 資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 地域づくり課	ダイヤルイン 0796-26-3674	室長 宿南 広樹 （和多田 佳史）	

## 但馬地域鉄道利用の促進

### 1 事業の趣旨、目的

地域住民の日常生活や観光・交流など、重要な社会インフラである鉄路を維持するため、JR山陰本線・播但線の利活用ワーキングチームの検討結果を踏まえ、沿線住民等の鉄道利用を促進し利用者増加をめざすとともに、地域資源の掘り起こし・活用により鉄道を利用した来訪者増を図り、地域活力の向上を目指す。

### 2 事業内容

県、但馬各市町、関係団体・地域組織で構成する「但馬地域鉄道利便性向上対策協議会」のもと、利用促進・利便性向上事業に取り組む。

#### (1) アクションプログラムの着実な推進

##### ア 2次交通アクセスの充実

駅前レンタサイクル補助により、気軽に地域公共交通で外出できる環境整備を促進する。

##### （ア）駅前レンタサイクル補助

#### (2) 但馬地域における鉄道の魅力発信による利用促進

##### イ 車両基地探検の実施

地域住民（子ども）を対象に豊岡駅構内の車両基地見学会を実施し、鉄道に親しみを感じてもらい、鉄道利用につなげる。

### 3 予算額 540千円



# 基幹道路ネットワークの整備

## 1 事業の趣旨、目的

「基幹道路八連携軸」を構成する北近畿豊岡自動車道(国直轄事業)と山陰近畿自動車道(県事業)の整備を推進する。

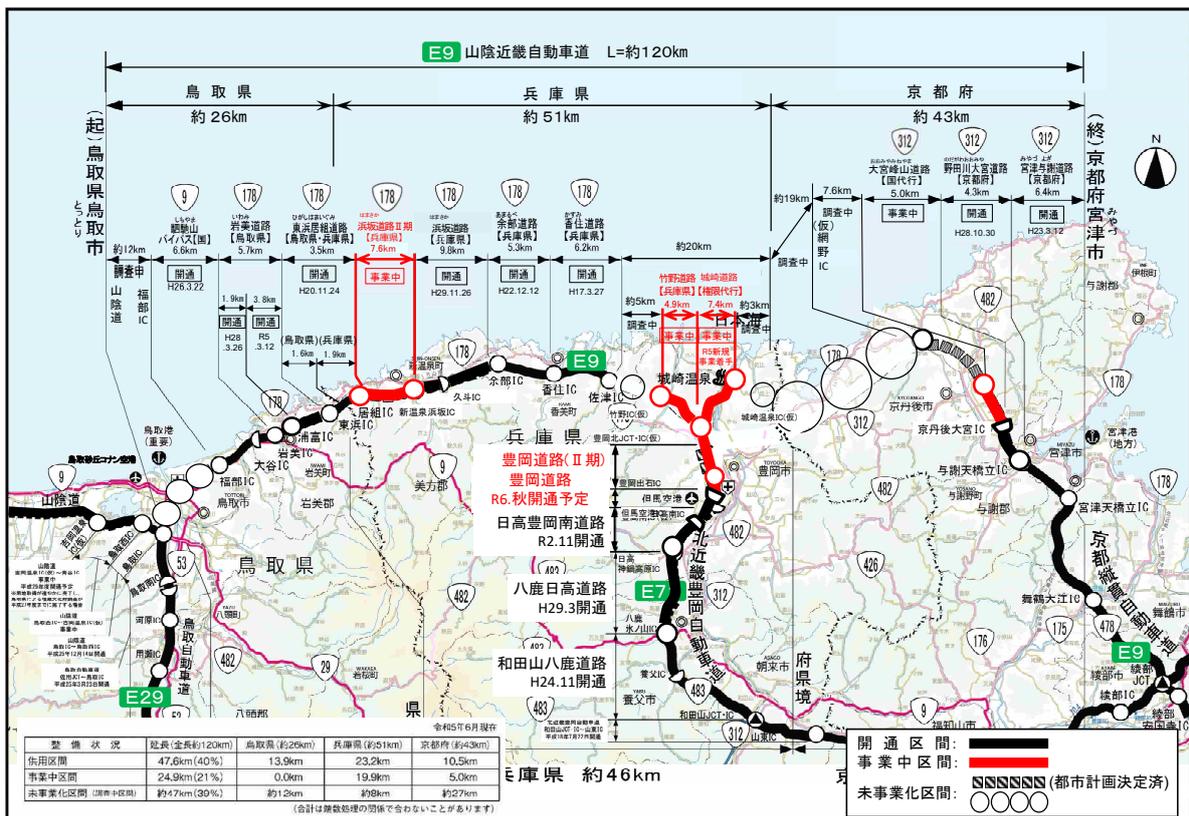
## 2 事業内容

(1)北近畿豊岡自動車道 ※進捗率 90% (全 73km のうち 65.9km 供用済)

箇所名等	事業概要	令和6年度の取組内容
①春日和田山道路 供用中	延長：36.4km (遠坂トンネル4.7km含む)	平成17年4月：氷上ICまで供用④ 平成18年7月：和田山ICまで供用④
②和田山八鹿道路 供用中	延長：13.7km	平成24年11月：供用④
③八鹿日高道路 供用中	延長：9.7km	平成29年3月：供用④
④日高豊岡南道路 供用中	延長：6.1km	令和2年11月：供用④
⑤豊岡道路 事業中	総事業費：190億円(2車線) 延長：2.0km	※令和6年秋供用予定
⑥豊岡道路(Ⅱ期) 事業中	総事業費：270億円(2車線) 延長：5.1km	令和2年度事業着手

(2)山陰近畿自動車道 ※県内の進捗率 45% (全 51 km のうち 23.2km 供用済)

箇所名等	事業概要	令和6年度の取組内容
⑦香住道路 供用中	延長：6.2km	平成17年3月：供用④
⑧東浜居組道路 供用中	延長：3.5km (うち兵庫県域 約1.9km)	平成20年11月：供用④
⑨余部道路 供用中	延長：5.3km	平成22年12月：供用④
⑩浜坂道路 供用中	延長：9.8km	平成29年11月：供用④
⑪浜坂道路Ⅱ期 事業中	総事業費：620億円 延長：7.6km	内容：工事
⑫竹野道路 事業中	総事業費：645億円 延長：4.9km	内容：調査設計、用地買収、工事
⑬城崎道路 事業中	総事業費：1,150億円 延長：7.4km	令和5年度事業着手
⑭佐津IC～竹野IC 調査中	延長：約5.0km	内容：早期事業化に向けた調査
⑮城崎温泉IC～府県境 調査中	延長：約3.0km	内容：早期事業化に向けた調査



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 地域づくり課	ダイヤルイン 0796-26-3674	地域政策室長 宿南 広樹 （室長補佐兼地域づくり課長 和多田 佳史）	

## コウノトリも棲める郷づくりの推進

### 1 事業の趣旨、目的

コウノトリ野生復帰推進計画の基本方針に基づき、コウノトリ野生復帰の推進を図る。

### 2 事業内容

#### (1) コウノトリ野生復帰の環境整備

##### ア コウノトリ野生復帰推進連絡協議会の開催

コウノトリ野生復帰推進計画の推進体制として、関係者連携のもとコウノトリの野生復帰の実現に向け、取組の総合調整を行うとともに、事業の円滑な推進を図る。

##### ・構成員 学識者（3名）

関係団体（区長会、農業協同組合、農業委員会、森林組合 等）

行政（国土交通省、県民局、但馬教育事務所、コウノトリの郷公園、市町）

##### イ ビオトープ等環境整備への支援

但馬地域における更なるコウノトリの定着を図るため、地域団体が行う水田ビオトープや魚道等の環境整備、人工巣塔設置に係る経費を支援する。

#### (2) コウノトリ野生復帰PR事業の推進

##### ア 地域団体が行う野生復帰事業のYouTube発信

コウノトリ野生復帰の先進地における成果を広く広報するとともに次世代へ繋いでいくため、YouTubeを通じて地域団体が行う取組を発信する。

### 3 予算額 1,078千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 環境課	ダイヤルイン 0796-26-3650	県民協働参事 永井 秀明 （馬場 敏郎）	

## ラムサール条約湿地を活用した環境学習事業

### 1 事業の趣旨、目的

兵庫県下で唯一ラムサール条約登録湿地となっている円山川下流域の湿地・周辺水田を活用した環境学習事業を行う。

高校生を主な対象として、恵まれた自然の中で、生物調査や保全活動を経験することにより、但馬の豊かで美しい自然環境を次世代に残していくための人材育成につなげる。

### 2 事業内容

#### (1) 戸島湿地等の調査・保全活動

但馬地域内外の高校生が湿地等の生物調査や外来植物の駆除を行うなど自然保護の活動を通じて、生物多様性に関する分析方法等を学習する。

- ・魚類・昆虫等の生態調査、モニタリング調査
- ・外来植物の駆除等の保全活動
- ・但馬管内・管外の高校生間の交流と情報交換

#### (2) 活動発表会の開催

但馬地域内外の高校生や各種主体が活動報告を行い、高校間の交流・情報交換を図るとともに、湿地の生息環境の維持の重要性について広く意識啓発を図る。

- ・高校生による活動結果の発表、パネルやポスター等の展示
- ・専門家による基調講演、環境保全団体の活動報告

#### (3) 実施主体

新さわやかな環境づくり但馬地域行動計画推進協議会

#### 【参考】令和5年度の実績

田結湿地、戸島湿地等をフィールドとして合計4回開催し、高校生156名の参加により生物調査等を行い、ラムサール条約登録湿地の理解、高校間の交流を深めた。

- ・活動期間：令和5年5月～12月
- ・参加校：香住高校、豊岡総合高校、豊岡高校、出石高校、飾磨高校、星陵高校
- ・指導：兵庫県生物学会但馬支部

3 予算額 1, 8 5 9 千円



記者発表 (発表→資料配布)				
月/日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2/8 (木)	豊岡土地改良センター 整備課	ダイヤルイン 0796-26-3717	所長 谷垣 和彦 (榮藤 公彦)	

## 清流の郷づくり大作戦の推進

### 1 事業の趣旨、目的

但馬地域では、農業用水の約9割を河川から取水しており、井堰は重要な施設である。

近年、少子高齢化による水利組合の人手不足が問題となっており、魚道を含めた管理体制の整備が課題となっている。

そこで、ハード整備と併せて、地域住民の魚道等に対する理解を深め、地域全体で保全する体制づくりを目指し、有識者や漁協、地域住民等を交えて保全管理等を話し合う「水辺の小わざ検討会」の実施や、高校生等の参画を得ながら、魚類の遡上調査や小わざ魚道づくり体験、稚魚の放流会等の各種イベントの開催を通じ地域が魚道を含めた河川環境を守る重要性の意識高揚を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 魚道づくり体験、放流会等の実施

地域住民・高校等の参画を得て、魚道づくり体験や稚魚の放流会等を実施

#### (2) 検討会の開催

竹野川で、有識者や漁業者・地域住民等による「水辺の小わざ検討会」を開催

#### (3) 各河川の保全協議会（仮称）の設立・運営支援

岸田川、矢田川における「保全協議会」の運営支援を行いつつ、竹野川での「保全協議会」設立に向けた話し合いを進める。

ア 構成員：漁協、各井堰管理者、関係市町等

イ 活動内容：地域と連携した保全活動や学識経験者との意見交換等

ウ 支援内容：県は協議会にオブザーバーとして参加

#### (4) 実施主体：県

#### 【実施スケジュール】

内容		事業主体	対象	負担区分	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	備考
魚道整備	岸田川	県	農業 水利者	国55% 県27.5% 市17.5%								国庫 補助 事業
	矢田川											
	竹野川											
(1)魚道づくり体験 等の実施	矢田川	県	地域住 民	県100%							地域運動 推進費	
	竹野川											
(2)検討会の開催	矢田川											
	竹野川											
(3)保全協議会の 運営支援	岸田川	協議会	協議会	1/2 補助								
	矢田川											
	竹野川											

### 3 予算額 120千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡土木事務所 まちづくり建築第2課	ダイヤルイン 0796-26-3755	まちづくり参事 山盛貴重 （まちづくり建築第2課長 神宮 円）	

## 豊岡復興建築群の魅力発信

### 1 事業の趣旨、目的

2025年に北但大震災から100年を迎えることを契機とし、復興により建築され現存している建築物の魅力を確認し、地域活性化や防災意識の向上に繋げる。

### 2 事業内容

#### (1) 歴史的価値の普及啓発

- ア 豊岡復興建築群の情報発信  
ホームページ等でデジタルマップを公開
- イ 出前講座の実施  
中学校や高等学校で出前講座を開催

#### (2) 復興建築を活用した地域活性化

- ア 復興建築群街歩きの開催  
デジタルマップを活用し、スタンプラリーを開催

### 3 予算額 650千円



旧豊岡町役場  
『豊岡稽古堂』



豊岡劇場  
『豊岡劇場』



旧兵庫縣農工銀行豊岡支店  
『オーベルジュ豊岡 1925』



大開通り、宵田通りの民間建築物



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 (曜日)	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 (担当課長名)	その他の 配布先
2／8 (木)	地域政策室 協働推進課	ダイヤルイン 0796-26-3641	県民協働参事 永井 秀明 (森脇 淳二)	

## 専門職大学等と連携した芸術文化振興の推進

### 1 事業の趣旨、目的

音楽、演劇、伝統芸能などの芸術文化事業の活動支援や発信を芸術文化観光専門職大学等と連携して行うことにより、芸術の魅力あふれる地域づくりを推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

### 2 事業内容

#### (1) 管内市町等が実施する芸術文化振興事業への支援

豊岡演劇祭をはじめ市町等が実施する芸術文化事業への支援を行うことにより、但馬全域における芸術文化の魅力向上と振興を図る。

【対象事業】市町等が実施する芸術文化振興事業

【補助率】1／2

【補助金総額】900万円

※ 地域団体等が実施する事業については地域活動応援事業により支援

#### (2) 芸術文化施設・イベント情報発信事業

但馬地域の周遊につながる芸術文化施設やイベント情報等をホームページで発信する。

### 3 予算額 10,845千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 地域づくり課	ダイヤルイン 0796-34-6126	室長 宿南 広樹 （小西 勝也）	

## 但馬での学生グループ地域づくり活動の支援

### 1 事業の趣旨、目的

大学生や但馬地域で地域活動実績のある大学卒業生の社会人等における継続的な地域づくり活動や、自分たちの地域に愛着を持ち、地域貢献する意欲を有する高校生の地域づくり活動を支援する。

### 2 事業内容

#### (1) 大学生及びOB等のグループ活動支援

大学生や但馬地域で地域活動実績のある大学卒業生の社会人等で構成するグループが、暮らしの中の課題解決やにぎわいづくりなどの活動に対して支援する。

##### ア 対象事業

但馬の地域団体等（自治会、まちづくり協議会等）と連携して、一定の成果が見込める地域活動

- 〈例〉・地域のまつりやイベントへの企画運営やスタッフとしての活動
- ・地域再生計画の策定や空き家活用等、集落の生活環境改善活動
  - ・特産品開発等の地域の産業振興に繋がる活動
  - ・住民の健康づくり、子育て支援、教育等への支援活動
  - ・里山や農道の保全作業、獣害対策等の環境保全活動

※活動内容を審査するための選考会を実施予定

##### イ 補助金額

1 団体につき150千円以内、3 件程度採択予定

#### (2) 高校生グループ活動支援

但馬の高校生グループが、地域づくりに取組む集落等と連携した活動に対して支援する。

##### ア 対象事業 上記(1)アと同じ

##### イ 補助金額

1 団体につき100千円以内、3 件程度採択予定

### 3 予算額 758千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 協働推進課	ダイヤルイン 0796-26-3641	県民協働参事 永井 秀明 （森脇 淳二）	

## 地域活動応援事業の推進

### 1 事業の趣旨、目的

但馬地域ビジョン2050（令和4年3月策定）がめざす未来の姿「つながる、たからじま ～みんなで創る ワクワク但馬～」の実現に向け、地域の活性化に取り組む団体の活動を支援する。

### 2 事業内容

地域団体が企画・実施する下記事業に必要な経費の一部を補助する。

#### (1) 対象事業

但馬地域の課題解決や活性化に向けて取り組む事業

ア 豊かな自然や文化などの地域資源の再発見・発展につなげ、次世代に継承する事業

イ イベントなどを通じて他地域との交流促進や協働による地域活性化につながる事業

ウ 地域の住民が身近に芸術文化に触れる機会を提供し、芸術文化の魅力発信や人材の育成を図る事業 など

#### (2) 補助率等

定額

30万円以内（千円単位）

#### (3) 募集期間

令和6年3月下旬から令和6年4月上旬（予定）

#### (4) 審査会の開催

- ・企画提案会（公開審査） 令和6年5月中旬
- ・審査委員 学識経験者3名、但馬青少年本部役員1名、但馬県民局長 計5名

### 3 予算額 7, 1 4 1千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 地域づくり課	ダイヤルイン 0796-26-3615	室長 宿南 広樹 （濱名 良輔）	

## 但馬地域ビジョン2050の推進

### 1 事業の趣旨、目的

令和4年3月に策定された但馬地域ビジョン2050の実現に向け県民主役のビジョンを推進するため、30年後の次世代を担う若者に向けた出前講座等を通じ普及啓発するとともに、地域ビジョンの実現に資する取組を行う団体等、多くの県民が地域の未来を語り合い、考える場づくりを展開する。

### 2 事業内容

#### (1) 但馬地域ビジョン2050の普及啓発

但馬地域ビジョンに共感し、ともに行動する主体を増やすため、次世代を担う若者等、地域住民に対する普及啓発を実施する。

##### ア 出前講座の実施

県立高等学校等への出前講座の実施

##### イ ホームページによる情報発信・PR

ホームページにより、地域ビジョンの実現に資する取組などの情報発信を推進する。

##### ウ 広報推進員の設置

主に次代を担う若者に向け、但馬地域ビジョン2050の実現に向けた取組や地域活動などをきめ細かくフォローし、SNS（インスタ、ツイッター等）で発信するために、情報収集する広報推進員を設置する。



出前講座の様子

#### (2) たじま交流フェスタの開催

多くの県民が集い、地域の未来を話し合う機会としてたじま交流フェスタを開催する。

- ・開催日時 令和7年3月頃
- ・開催場所 但馬文教府多目的ホール
- ・参加者 50人～80人（地域活動団体、一般県民、地域のキーパーソン、自治体職員、大学生等）

### 3 予算額 3,598千円



記者発表（ <del>発表</del> 資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 協働推進課	ダイヤルイン 0796-26-3648	県民協働参事 永井 秀明 （中村 美穂）	

## 地域の見守り力アップ作戦

### 1 事業の趣旨、目的

青少年の健全育成に向けて県民意識の高揚を図るとともに、青少年のみならず大人の規範意識の醸成と社会環境の浄化を地域ぐるみで図る気運を高めることを目指し、警察や学校、地域団体等と連携し、次代を担う但馬の青少年を地域で守り、育て、温かく見守るという意識を持って、青少年の非行化防止や健全育成に取り組む。

青少年や保護者が集まる行事等において、見守り力向上に資する啓発用チラシ、啓発グッズを作成配布する。

### 2 事業内容

#### (1) 但馬の青少年を見守る「ひと声運動」の実施

但馬青少年本部の構成団体や地域の防犯グループ、PTA役員等と連携し、地域の青少年が集まるエリアを中心に夜間パトロールを実施する。

青少年への声かけ、店舗での聞き取り並びに啓発チラシを配布

#### (2) 青少年非行に対する地域の危機意識醸成のためのキャンペーン実施

警察、青少年健全育成団体、学校関係者、市町等と連携しながら、青少年非行等の実態を知ってもらうとともに、地域一帯となった危機意識や、地域の子どもは地域で守るといった意識を醸成するための啓発活動を展開する。

大型イベント等で啓発グッズを配布

#### (3) 適切なインターネット利用への啓発活動

青少年の育成環境において課題となっているインターネット上のトラブルやネット依存から青少年を守るため、家庭での効果的なルールづくりやフィルタリングの活用についての啓発活動に取り組む。

中学校行事や各市町の研修会等で啓発グッズを配布

### 3 予算額 400千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 環境課	ダイヤルイン 0796-26-3650	県民協働参事 永井 秀明 （馬場 敏郎）	

## 但馬の自然環境の保全と復活・再生に向けた支援

### 1 事業の趣旨、目的

豊かな自然に恵まれた但馬地域においても、とりまく環境の変化により、希少な動植物が危機的な状況に置かれるなど、元来の自然環境が失われつつある。

これら希少動植物の保護は、但馬で暮らす人々の安全安心な生活環境を守るため、重要な取組である。

本事業は、その活動に必要な費用を補助し、但馬の自然環境が次世代へと継承されるよう支援を行うとともに、令和5年度策定予定の但馬環境行動指針（仮称）に則り、失われつつある自然環境の再生と啓発に係る事業を実施する。

### 2 事業内容

#### (1) 環境保全等の活動への支援

自然環境の保全と復活・再生に向けた活動（希少動植物保護、温暖化対策、漂着ごみ対策、環境学習事業等）を実施する環境保全団体等の取組に対して必要な経費の補助を行う。

#### (2) 自然環境再生・啓発事業

希少動植物の保護及び地球温暖化防止につながる環境フォーラム等の事業を実施し、但馬地域における自然環境再生・啓発事業を実施する。

#### (3) 環境フェスティバルの開催

県民に環境への関心をもってもらい、環境保全意識の高揚及び普及啓発を図り、実践活動への参加の契機として、親子等で楽しめる「環境フェスティバル」を開催する。

#### (4) 実施主体

新さわやかな環境づくり但馬地域行動計画推進協議会

### 3 予算額 1,705千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	総務企画室 総務防災課	ダイヤルイン 0796-26-3618	室長 中山 友美 （班長（企画防災担当）原 悟）	

## 「たじま福祉交流・連携エリア」事業検討

### 1 事業の趣旨、目的

発展的統合整備を行う特別支援学校の周辺を「たじま福祉交流・連携エリア」と称し、多様な福祉連携を展開するため、その方策について検討する。

### 2 事業内容

地域の人々と交流し、相互理解を深め、互いを認め合い共生する社会（インクルーシブ社会）の実現を目指す連携方策を検討する。

#### (1) 検討方法

但馬地域内の関係者によるプロジェクトチーム（PT）を設置し検討する。

主なPTメンバー…

豊岡健康福祉事務所、朝来健康福祉事務所、  
但馬教育事務所、豊岡聴覚特別支援学校、出石特別支援学校、  
但馬3市2町の福祉担当課、  
但馬県民局総務企画室（事務局）

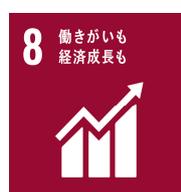
#### (2) スケジュール

- ・令和6年度：連携のアイデア出し（継続）、先進事例の収集
- ・令和7年度～令和8年度：具体的な連携方策の関係者調整
- ・令和9年4月：新設特別支援学校の開校

#### (3) 令和6年度の取組

特別支援学校の開校に向け、障害がある人と地域が日常的にどのように交流していくことができるのか、特色のある活動を展開している社会福祉法人等から講師を招き、先進事例を収集する。

### 3 予算額 402千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡健康福祉事務所 企画課	ダイヤルイン 0796-26-3655	所長 柳 尚夫 （副所長兼企画課長 前田 寛）	

## 地域医療構想の実現と推進

### 1 事業の趣旨、目的

「第8次兵庫県保健医療計画」が令和6年度に策定される。但馬圏域では、圏域単位では全国で初めての取組として、ロジックモデルを使用し、各項目の進捗状況を随時把握しつつ、目標に向けた取組を実施している。医療機関の機能分化・連携、在宅医療の充実を通じて、地域完結型医療への転換を図るため、効率的かつ質の高い医療提供体制を確保するとともに、医療従事者が定着するための環境づくり、公立病院間の連携強化を進めるための病床機能の再編、病院間の連携体制の構築を図るため、圏域が一体となった取組を進めている。

### 2 事業内容

但馬圏域の効率的かつ質の高い医療提供体制を確保するため、病院間連携のための協議、医療機関による自主的取組への支援を進めていく。

#### (1) 但馬圏域健康福祉推進協議会医療部会（地域医療構想調整会議）の開催

内 容：保健医療計画の推進、病床機能の再編、医療連携体制の構築等に関する  
ことの協議

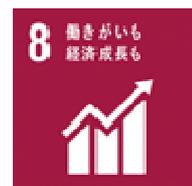
構成員：医師会、歯科医師会、看護協会、薬剤師会、公立病院代表、消防本部、  
住民代表、医療保険者、行政 計22名

#### (2) 但馬圏域医療機関等連絡会議の開催

内 容：地域医療構想の実現に向けた医療体制、施策に関することの協議

構成員：医師会、公立病院組合管理者、病院長・事務長、有床診療所、行政  
計27名

### 3 予算額 111千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡健康福祉事務所 企画課	ダイヤルイン 0796-26-3655	所長 柳 尚夫 （副所長兼企画課長 前田 寛）	

## 社会的処方及び重層的支援体制の整備による 地域共生社会の推進

### 1 事業の趣旨、目的

支え手受け手という立場を超えて誰もがつながりや生きがいを持てる地域共生社会の実現を目指す。そのために、行政等が制度の縦割りを越えた地域づくりや相談支援を実施する市町の任意事業である重層的支援体制整備事業について理解を深め、薬ではなくつながりを処方する社会的処方の考え方を医療福祉専門職や市民が学ぶ機会を作る。そして、行政、事業者、医療機関、市民等による地域づくりを加速化する。

### 2 事業内容

#### (1) 市町の重層的支援体制整備の実施の推進

研修会等の実施による重層的支援体制整備事業についての理解の促進と市町内の課題把握と取組の伴走支援の実施

#### (2) 医療機関等への働きかけ

社会的処方に関する理解を深める研修会の実施と孤立孤独の把握のためのツールの導入等を促す

#### (3) 地域資源開発をする社会福祉協議会、福祉事業者向けへのアプローチ

障害者が高齢者を支える仕組み等、先進事例の共有と伴走支援

#### (4) 社会的処方を実施するケースワーカーへのアプローチ

社会的処方により地域資源を処方先とした好事例を共有する事例検討会と社会資源マップ等の作成に向けた伴走支援

### 3 予算額 750千円



記者発表（発表・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	地域政策室 環境課	ダイヤルイン 0796-26-3650	県民協働参事 永井 秀明 （馬場 敏郎）	

## クリーン但馬10万人大作戦の推進

### 1 事業の趣旨、目的

但馬地域の環境美化の推進を目的とし、地域団体、住民等が一体となり、不法投棄防止活動の充実を図り、環境美化県民運動を展開する。

この事業は、平成2年度にクリーン但馬5万人大作戦としてスタートし、以後継続して実施され、地域における毎年の恒例行事として認知されている。

ごみを捨てない、捨てさせない心を育むとともに、環境美化の意識を定着させ、不法投棄を許さない地域づくりを推進していく。

### 2 事業内容

#### (1) 地域住民と一体となった不法投棄防止対策の推進

毎年6月の第1日曜日を実施基準日と定め、通年で地域団体、住民等による清掃活動に加え、不法投棄の防止を図るため、監視活動を行うことによって、クリーン但馬10万人大作戦事業を展開していく。

#### (2) 海岸漂着ごみ対策の推進

海岸漂着ごみの発生源の一つである、河川周辺等からのごみ流入の削減を図るとともに、関係機関と連携を取り、海岸・河川での清掃活動の強化や監視活動、普及啓発等を推進する。

### 3 予算額 509千円



住民等による清掃活動（豊岡市）



回収されたゴミ



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	豊岡土地改良センター 農村計画課	ダイヤルイン 0796-26-3715	所長 谷垣 和彦 （大田垣 知己）	

## 安全安心で住みよい但馬の農村（むら）づくり

### 1 事業の趣旨、目的

但馬地域には地すべり地域が多く、「農地地すべり防止区域」が10箇所（251ha）指定されており、各区域で地すべり防止工事等のハード対策を進めている。

また、地すべり防止対策として日常の管理が重要なことから、地域住民・市町・県による「但馬地域農地地すべり対策協議会」を設立し、地域の意識啓発、監視・連絡体制の充実等、ソフト対策も進めている。

しかし、近年農業者の高齢化や耕作放棄地の増加による地すべりの誘発が懸念されており、安全安心で住みよい農村が失われつつある。

地すべり防止にはハード・ソフト対策に加え、適切な農地管理（農作業）が非常に重要であり、その人材確保が課題となっている。

このため、地域が農作業の手助けを行う棚田保全会員（個人、企業等）を募り、登録・派遣する仕組みづくりを支援する。

### 2 事業内容

#### (1) 棚田保全活動会員の募集

「地すべり防止区域」の棚田で、高付加価値米栽培等を積極的に展開しているが、人材確保等の課題に直面している板仕野区域（香美町村岡区）をモデルに、農作業の手助けを継続的に行う棚田保全活動会員（個人・企業等）を募集

#### (2) 保全活動の実施・広報

ボランティア参加型の保全活動の効果的实施や新たな会員の募集に向け、地元高校とも連携しながら、啓発用のPR動画等を作成。

#### (3) 実施主体

県

### 3 予算額 50千円



記者発表（ <del>発表</del> ・資料配布）				
月／日 （曜日）	担当事務所名 担当課名	TEL	発表者名 （担当課長名）	その他の 配布先
2／8 （木）	総務企画室 総務防災課	ダイヤルイン 0796-26-3618	室長 中山 友美 （班長（企画防災担当）原 悟）	

## 地域防災力の充実・強化

### 1 事業の趣旨、目的

大きな被害をもたらした平成16年台風23号水害から20年にあたる令和6年に、但馬地域での災害への知識を深めるため、防災関係者や災害対応職員等への最新の情報を提供し、地域防災力の充実・強化を目指す。

### 2 事業内容

#### 防災関連講演の実施

近年多発する自然災害に備え、有識者を招き講演会を開催する。

有識者の講演から災害の知識を深めることで、災害時に適切な行動をとることを目指す。

- ・対象者：防災関係者、災害対応職員、一般県民 50名程度
- ・内 容：防災関連講話

### 3 予算額 300千円

